

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

## 越前町地域公共交通活性化協議会

平成 2年 12月 18日 設置

令和 3年 1月 28日 越前町地域公共交通計画策定  
(計画期間：令和3年4月～令和8年3月)

令和 3年 6月 25日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

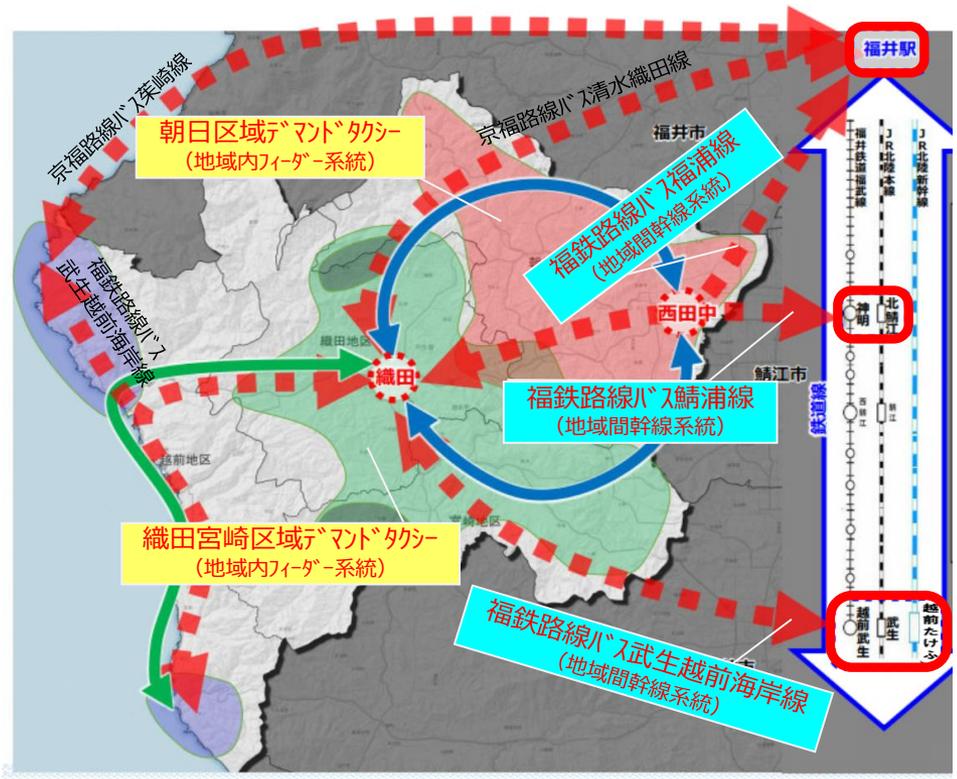
令和 5年 1月 16日 令和4年度評価結果送付

## 【越前町の概要】

人口：20,464人（R4.4.1時点）  
 鉄道：軌道なし  
 路線バス：主要な幹線系統として、福浦線、鯖浦線、武生越前海岸線があり、本町からそれぞれ福井市、鯖江市、越前市方面に運行

## 【計画策定の背景】

利用の少ないコミュニティバス路線の約半数を廃止し、代替手段としてデマンドタクシーを導入



越前町公共交通ネットワークイメージ図  
 越前町地域公共交通計画から引用

## 計画の基本方針

「皆で守り育てる公共交通ネットワークの形成」

- 目標1 町内外を移動できる公共交通のネットワーク化
- 目標2 誰もが利用しやすい環境づくり
- 目標3 行政と住民との協働による公共交通の活性化

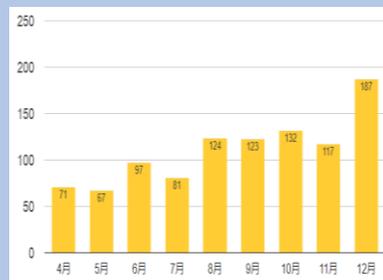
	路線バス
	コミュニティバス
	デマンドタクシー
	幹線補助路線
	フィーダー補助路線

## 2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
デマンドタクシー 「チョイソコえちぜん」運行開始 (フィーダ-補助受給系統)	利用が少ないコミュニティバスを廃止しデマンドタクシーを2区域で導入。	運行開始から9ヶ月経過し、利用者は増加傾向で推移。廃止したコミバス利用者はほぼ移行した。	無料運行などの実証実験を経てないためか、運行の仕組みについての認知度不足を痛感。
各種パンフレット発行配布	運行体系が大きく変わったため、バスマップとデマンドタクシー利用登録用紙配布。	町内全戸10,000世帯に広報と同時配布。デマンドタクシー運行開始前登録は48件、問合せ約50件。	路線廃止は利用者が少なかったため大きな混乱はなかった。パンフレット配布だけでの制度認知には限界があると実感。



出発式典



月別利用者数



ハンドブック時刻表



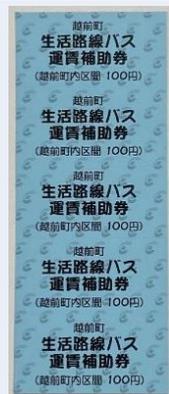
パンフレット（利用方法区域図）

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察
デマンドタクシー利用促進キャンペーン	8月～10月までの期間中に3回以上利用された方に商品券を進呈。	41名の利用者が条件を満たした。期間中新規登録者は93名、新規利用開始者は15名あった	始まって間もないデマンドタクシーに一度利用してもらうきっかけ作りとして効果があった。
高齢者運賃補助事業	町内区間を運行する路線バスにコミュニティバスと同じ料金で乗車可能。	乗車料金を等しくすることで、一方に利用者が偏ることがなくなった。	料金が低額なコミュニティバスにも一定数乗ることで運賃収入が確保できている。
通学支援補助事業	高校生が通学のために購入する路線バス定期券の購入補助。	通学定期券購入者全員292名が制度活用。補助総額42,058千円。	補助制度があることで、バス通学する学生が多く、運賃収入増に繋がっている。



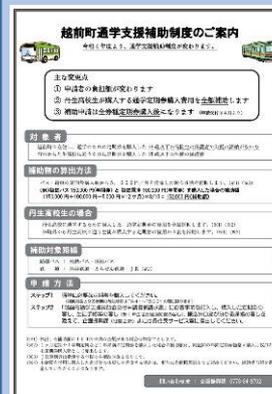
### キャン・オン・チン

ワクチン接種会場、健康診断会場で加入促進時に配布。3回以上の利用で特典進呈。



### 高齢者運賃補助

コミュニティバスと同じ料金で路線バスが利用できる。



### 通学支援補助

定期代金の約半額を補助  
バス電車通学の全ての高校生が制度を活用している。

## 3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

計画目標		達成状況					考察
目標指標	目標値	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	
コミュニティバス1便あたりの利用者数 (定時路線)	7.0人	2.9人					2年目に低乗車率路線廃止により数値改善の見込み
コミュニティバス1便あたりの利用者数 (区域運行)	3.5人	0.9人					2年目にデマンドタクシー導入により数値改善の見込み
集落カバー率	100%	100%					コミュニティバスの一部を廃止しデマンドタクシーに切替え集落カバー率を維持
公共交通利用者数 路線バスコミュニティバスの合計	23万人	25.4万人					人口減少率を考慮した目標で現利用者数の維持を目指す
公共交通の利便性 町民満足度	45%	—					4年目に意識調査実施予定

## 目標値の算出方法

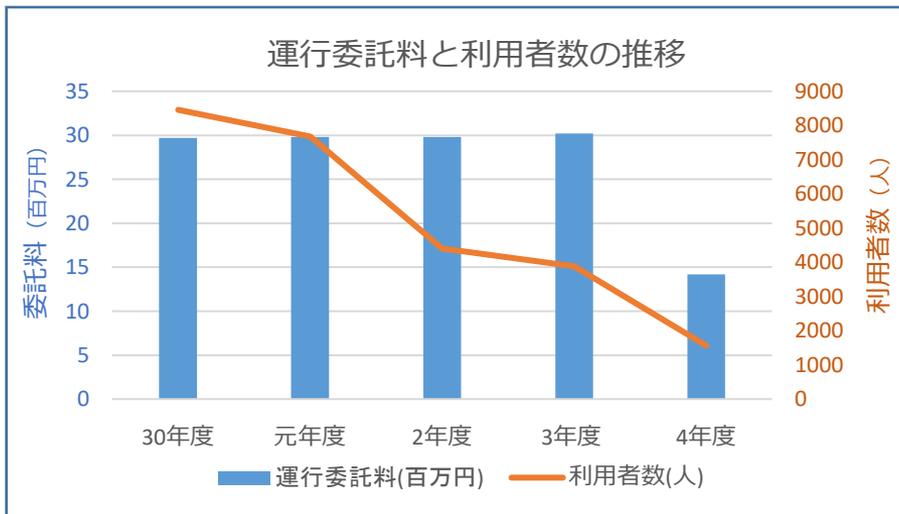
越前町生活交通確保維持改善計画（令和3年11月）よりフィーダー系統の利用者目標は3,840人と設定

デマンドタクシー運行開始時に廃止したコミュニティバス路線（朝日巡回、宮崎巡回、織田巡回、朝日乗合い、織田乗合い）の利用者数を目標とした。令和2年度にデマンドタクシーへの転換を検討していたことから、その令和元年度実績を目標に設定したが、令和元年度はコロナ禍前であり、目標値を高く設定しすぎたことで達成率が大きく下がることになった。

路線名 (期間R4.4~R4.9)	目標値 (利用者数) (運行回数)	実績値 (利用者数) (運行回数)	達成状況
朝日デマンドタクシー	1,920人 492便	236人 192便	未達成
宮崎織田デマンドタクシー	1,920人 492便	327人 297便	未達成

### 交通体系見直しを行った区域における利用者等の状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
旧体系	朝日地区巡回ルート 他4路線 (人)	8,461	7,680	4,401	3,882	0
	委託料 (千円)	29,751	29,821	29,814	30,205	0
新体系	デマンドタクシー(人)(見込み)					1,560
	委託料 (千円)					14,200



### 考察

今後アンケートの実施予定だが、従前のバスと比べ、利用希望時刻の乗車と自宅前での乗降が可能になったことで満足度の向上が期待できる。またデマンドタクシー運行開始に伴い、運転免許返納を検討することを多く聞くようになった。

利用者が減少傾向にある中、路線を維持するための委託料を大幅に削減できた。

## 地域公共交通計画の目標に対する現在の到達状況

運行開始から6ヶ月経過し利用者数は毎月増加しているものの、目標を大きく下回っている。

## 到達状況を踏まえて、今後の取組の進め方の方針

デマンドタクシー利用者は8割以上が75歳以上の高齢者であるから、高齢者への地道な周知活動を引き続き行うことが有効と考え、健康診断会場、ワクチン接種会場など高齢者が集まる場所での活動を実施する。運転免許返納者の割引料金を設定しているおり、免許返納促進と合わせて周知を強化する。お得感が得られる企画を実施し新規利用者を獲得する。

## 周知広報活動の一部



グラントゴルフ大会車両展示



ワクチン接種会場

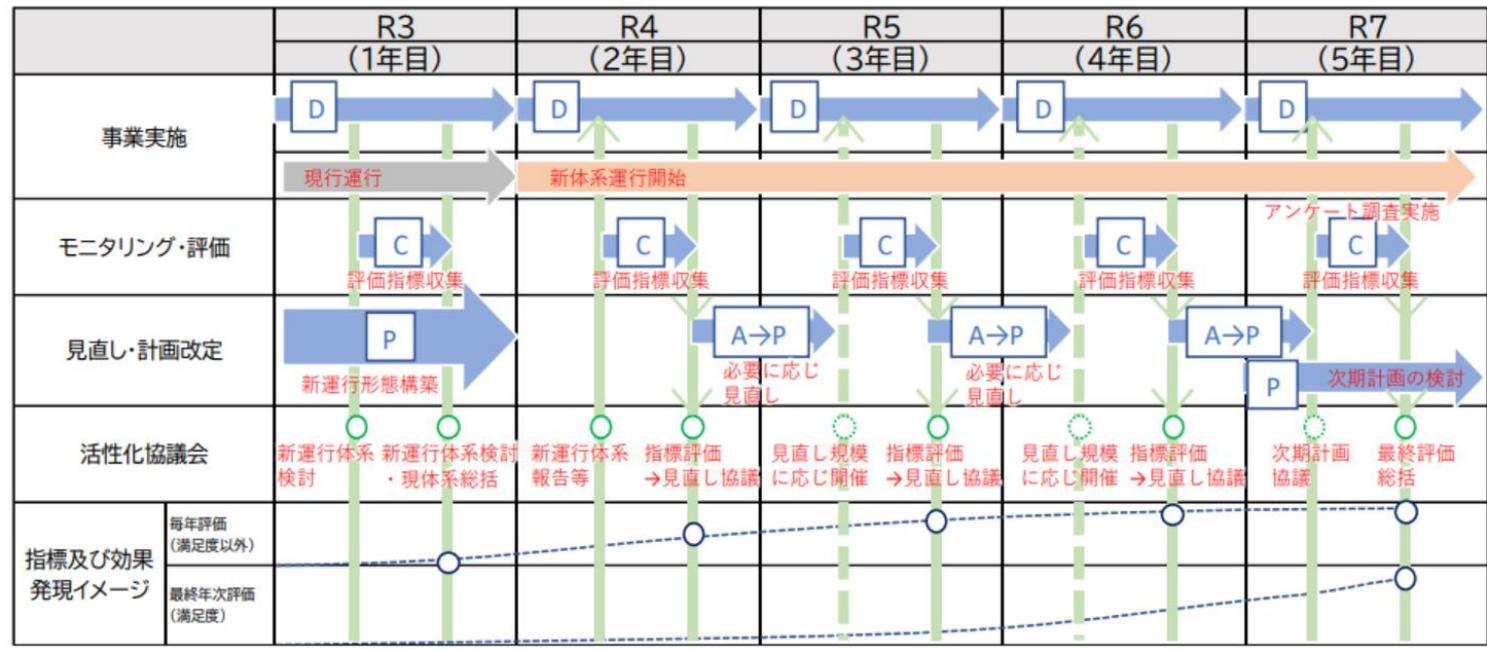


健康診断会場



持帰り用缶設置

<進捗管理 (PDCA サイクル) 計画>



【協議会の実施状況】

- 令和3年度  
 第2回協議会 11月17日 主な協議：コミュニティバスの廃止、デマンドタクシー運行計画
- 令和4年度  
 第1回協議会 6月21日 主な協議：確保維持改善計画策定、路線バス運行ルート変更  
 第2回協議会 11月28日 主な協議：確保維持改善計画一次評価、路線バス運行ルート変更

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 5年 1月16日

協議会名: 越前町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 朝日自動車(株)、(有)日の丸タクシー

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日自動車株式会社	朝日デマンドタクシー		A タクシー事業者による運行、公共交通マップの作成、高齢者が利用する施設等での公共交通利用啓発活動を実施した。	B 計画運行回数492回、目標人数1,920人に対し、192回236人であった。 4月から運行開始したこともあり、周知の徹底を図ったが、主な利用者である高齢者に対する浸透が十分でなかった。	・主な利用者である高齢者に対し、デマンドタクシーの仕組みについてより浸透を図るため、高齢者が集う場所に赴き周知活動を実施する。 ・キャンペーンなど企画し、新規利用者を獲得する。 ・乗合い率が1.23と低率であるため、現状を分析し運行効率を向上させる。
有限会社日の丸タクシー	宮崎織田デマンドタクシー		A タクシー事業者による運行、公共交通マップの作成、高齢者が利用する施設等での公共交通利用啓発活動を実施した。	B 計画運行回数492回、目標人数1,920人に対し、297回、327人であった。 4月から運行開始したこともあり、周知の徹底を図ったが、主な利用者である高齢者に対する浸透が十分でなかった。	・主な利用者である高齢者に対し、デマンドタクシーの仕組みについてより浸透を図るため、高齢者が集う場所に赴き周知活動を実施する。 ・キャンペーンなど企画し、新規利用者を獲得する。 ・乗合い率が1.10と低率であるため、現状を分析し運行効率を向上させる。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 5年 1月 16日

協議会名:	越前町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持改善事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>越前町においては、越前町北部からJR福井駅方面に京福バス、越前町南西部からJR北鯖江駅・JR武生駅に福井鉄道バスが運行している。町内には鉄道駅がないため、民間の路線バスを幹線系統と位置づけ、それに接続するコミュニティバスで交通網が形成されている。路線バスは主に高校生の通学と高齢者の通院の広域移動に、コミュニティバスは主に高齢者の日常の移動に利用されている。</p> <p>しかしながら人口減少と高齢者の自動車免許保有率の高止まりにより、公共交通機関利用者数は減少を続け、路線バス、コミュニティバス事業の収支悪化による行政負担の増加で便数の減便を余儀なくされている状況である。そこでコミュニティバスに代えてデマンドタクシーの運行を開始し、利便向上と運行収支の改善を目指す。</p> <p>そのためには、地域公共交通確保維持事業により、地域間幹線ネットワークの拠点である西田中バスターミナル、織田バスターミナルと接続するフィーダー系統を確立し、住民の生活交通手段を維持存続させていく必要がある。</p>